令和8年度文京区アカデミー推進協議会
第2回分科会(スポーツ分野)概要記録

日　　時	令和8年8月7日(金) 18:25～20:26
会　　場	文京シビックセンター12階　地域振興会議室
出 席 委 員	青木和浩委員◎、髙木いつ子委員、脇弥恵子委員、野村美奈委員、 蜂谷伸治委員、篠塚麻衣子委員、樋口晃委員、小木貢委員 （座長◎）
欠 席 委 員	なし
事　務　局	吉本アカデミー推進課長、富沢スポーツ振興課長、小松スポーツ振興係長、 佐々木健施設等担当主査、長陽介施設等担当主査
資　　料	次第、資料第1号　施策体系（案）について、 参考資料第1号　文京区アカデミー推進協議会分野別分科会名簿
（議事） 1　議題 ○委員意見 ◆事務局説明	1．施策体系（案）について 分科会資料第1号に基づき、基本理念～基本方針について説明。 ① <u>基本方針1「だれもが気軽に取り組めるきっかけづくり」について</u> 分科会資料第1号に基づき、基本方針1の施策について説明。 ○効果的な情報発信とは、幅広い世代の区民にまで届いているかであり、スポーツ推進委員としては継続的な活動とSNSの活用に課題を感じている。 ○スポーツの楽しさを知るきっかけとして、祭り会場などでスポーツにふれられる機会は重要だと感じている。 ○ユニバーサルスポーツについて、区では文京区ルールでボッチャがかなり普及している。モルックもわかりやすい競技として普及している。 ○情報発信について、チラシは作成配布に手間がかかり、区報への掲載など計画的な対応が課題になることもある。学校や区の広報など多くの区民にアクセスのあるところと連携できるとよい。 ○大人向けの効果的な情報発信は課題で、SNSも重要だが、一定年齢以上になると区報がより効果的だと感じている。 ○ユニバーサルスポーツは、障害の有無を問わず皆んなでできるので、区内様々な場所・イベントで機会を充実していけるとよい。福祉施設の利用者で文京区発のカーレットに熱中している人も多い。

	○スポーツ分野は文化芸術分野との違いを意識しながら、大人向けに効果的な情報発信ができるとよいと考えている。「始めやすい環境づくり」とあるが、「続けやすい環境づくり」の視点もあるとよい。 ○お祭りがスポーツ実施のきっかけになるという話を聞いて、こどもは身近な所に様々なきっかけがあるとよいと感じた。文京スポーツパーク（BSP）事業は、他の地域イベントと連携して、区内で分散開催できるとよいと思った。 ○情報の受け取り方は人それぞれだと感じている。現在はデジタルへの移行の過渡期であり、学校配布の資料が届くかどうかは家庭にもよる。ターゲットと手法を整理できると効果的に情報発信できるだろう。 ○プッシュ型の情報発信としてデジタルサイネージを身近な場所に導入し、活用できるとよい。実態調査報告書 23 ページをみると「80 歳以上」で無関心が多くなっている。関心のない理由を今後調査できるとよい。 ◆無関心層は一定数いるが、力をいれるとよい取組を参考にする。 ○一人でもできる取組は重要になるが、区で実践していることはあるか。 ◆初心者向け教室がその対応になると考えている。 ○そこから継続していけるしくみもあるとよいと感じた。 ○事業参加者に参加理由を聞けるとよい。 ② <u>基本方針2「みる・ささえる機会の提供」について</u> 分科会資料第1号に基づき、基本方針2の施策について説明。 ○ボランティアに求めることを事前にすり合わせすることは重要だと感じている。技術面での指導力向上も、今後より一層重要になると感じている。 ○メジャーな競技は観戦の機会が充実しているが、メジャーでない競技は集客に苦戦している。そこに区がフォーカスを当てる取組ができるとよい。 ○同年代で社会とのつながりを感じることが、スポーツボランティアの良さだと思うが、さらに、多世代での関わりを継続していくしくみがあるとよいと感じた。 ○スポーツ実施のきっかけが重視されていると感じるが、継続の施策もより一

	層充実できるとよいと感じた。現行計画にある「いつでも、どこでも、いつまでも」の視点は、引き続き重要だと感じた。 ○観戦のきっかけづくりは効果を実感している。メジャーでない競技の観戦を充実するには、受け入れる側の準備や工夫で行きやすくなるだろうと思う。 ◆東京大学軟式野球部等との地域連携の可能性はある。 ③ 基本方針3「スポーツを通した地域の活性化」について 分科会資料第1号に基づき、基本方針3の施策について説明。 ○分野間連携は重要で、他の分科会と合同で議論する機会があってもよいと思う。 ○持続可能な協働について、関わる人の年代の偏りを解消するなど、多様な人がスポーツをきっかけにつながっていくことが地域づくりには重要だろう。 ○部活動の地域展開について、地域とどこまで連携できるか気になるが、その点で大学との連携はよい機会だと感じている。 ○「持続可能な協働」「スポーツを通じた地域のコミュニティづくり」を考えると、継続するための施策にも注力できるとよいと感じた。 ○この施策体系は、他課の事業も体系的にひもづいているのか。 ◆他部署のスポーツへの取組も、この計画にひもづいている。 ○スポーツ実施の入口となる初心者向け教室から、継続実施までの導線が充実していない印象もある。継続につながるしくみ等を充実していけるとよい。 ○スポーツ推進委員と町会など、スポーツを通じて地域内の関係性を継続していくしくみは、今後も充実していけるとよい。 ◎多岐にわたる意見をいただいた。事務局で確認し、素案に反映していってほしい。
2 閉会	